



口はキキョウ科の一種、蜜の出るころ、土手などに咲く愛らしくか

「優秀賞に入賞したという通知をいただきましたが、新聞で見ると小中学生の部の最高賞だとは知らず、びっくりしました。作品の題名は『ほたるぶくろ』です。夏休みに家族で温泉へ行く途中、静かな山道で薄紫色に咲いている花を見つけ、題材にしました。その後、家に帰ってから、二、三日かけて書き上げました」

ホタルブク

部門最高賞と知りびっくり



童謡の作詞で優秀賞
河合 清定さん(14)
日吉町二丁目

れんな花だ。

「利根郡新治村にある父の実家へ行くと、祖父や祖母がいろんな草花や木の名前を教えてくださいました。以前、見たことがある花だったので、山道を歩いていて気が付いたんだと思います」

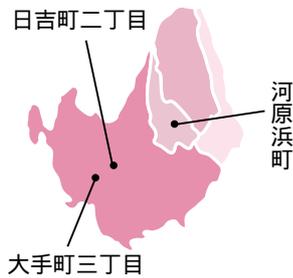
小さいころから読書や文章を書くことが好き。特に、宮沢賢治や海外のSF作家の本をよく読んでいます。

「学校では理科の授業が好きです。特に、化学に興味があります。物質が変化して思いもよらない反応を起こす実験が面白いな。将来は化学者になって、元素の研究などをするのが夢なんです」

現在、四甲二年生。部活はテニス部、趣味はクラシックなどの音楽を聞くことだという。いろいろなことにチャレンジしながら、大きく成長してほしい。

ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。



清掃活動で きれいな公園に

本庁管内

大手町三丁目では十一月十一日、前橋公園の清掃を行いました。毎年、この時期に実施されていて、町民三十人が参加。ほうきやちりとりを手に、落ち葉集めやゴミ拾いをしました。長寿会でも毎月一回、清掃しています。集めた落ち葉は「ゴミ袋三十袋以上にも。清掃後は自治会館で温かいけんちん汁とおにぎ



りで昼食会を行い、和気あいいと過ごしました。同町自治会の中村信二会長は「みんなの大事な公園だからいつまでもきれいにしていきたいですね」と話していました。

まちのニュース

地元の素材使い 本格そば打ち

大胡地区



河原浜町の農村環境改善センターで、親子三十人が参加し、手打ちそば教室が開かれました。趣味でそば打ちを楽しむ地元講師が、自ら栽培したそば粉と小麦粉を提供。本格的な七割そばに挑戦です。そば玉を器用にこねる人や、めんを切るのに悪戦苦闘する人などおいしいそばを作るため真剣。昼食に打ち立てをみんなで試食しました。

母親と参加した大胡小四年生は、「こねるのが難しかったけど楽しかった。今度は家でお父さんにそばを打ってあげたいな」と話していました。